



# 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月9日

上場会社名 **株式会社オリエンタルランド**

(コード番号：4661 東証第一部)

(URL <http://www.olc.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 福島 祥郎  
 問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 水嶋 健次郎  
 役職名 広報部長 氏名 安岡 譲治

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有（連結（新規）1社）

## 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	257,850	0.6	31,047	△9.9	28,277	△12.5	16,537	△9.1
17年3月期第3四半期	256,297	△3.0	34,459	△16.2	32,327	△14.9	18,189	—
(参考) 17年3月期	331,094		34,561		30,836		17,224	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	171.44	—
17年3月期第3四半期	181.68	—
(参考) 17年3月期	171.19	—

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

四半期純利益については前四半期より開示を行っているため、前四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループでは、主力のテーマパーク事業において、東京ディズニーシーに新規アトラクション「レイジングスピリッツ」を導入したほか、2つのテーマパークで積極的にスペシャルイベントを実施いたしました。また、2つのディズニーホテルやイクスピアリなどの各施設においてもそれぞれの特長や季節の商材を活かした営業施策を行い、テーマリゾートとしての魅力を提供いたしました。

しかしながら、2つのテーマパーク合計の入園者数は、10月から12月においては前年同期を若干上回ったものの、当中間期の減少分をカバーしきれず前年同期を若干下回りました。また、リテイル事業におきましても、当中間期に引き続き売上高が前年同期を下回りましたが、パーム&ファウンテンテラスホテルが期間を通じて業績に寄与したことなどにより、売上高は257,850百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

一方で、費用面におきましては、パーム&ファウンテンテラスホテルの営業費用が発生したことや、テーマパーク事業において、準社員人事制度変更などによる人件費や、スペシャルイベントの期間・規模拡大などによるエンターテイメント・ショー製作費が増加したことなどにより、営業利益は31,047百万円（同9.9%減）となりました。

また、経常利益は、前年同期に発生したレバレッジドリース投資利益が発生しなかったことなどにより28,277百万円（同12.5%減）となり、四半期純利益は16,537百万円（同9.1%減）となりました。

#### (テーマパーク事業)

東京ディズニーランドでは、4月から1950年代のアメリカにタイムスリップして当時を楽しむ「ディズニー・ロック・アラウンド・ザ・マウス」を展開いたしました。東京ディズニーシーでは、5月にはスペシャルイベント「アラジンのホールニューワールド」を展開いたしました。また、開園後初となる、崩れかかった古代神の石像の発掘現場を猛スピードで駆け抜けるローラーコースタータイプの新アトラクション「レイジングスピリッツ」を7月にオープンし、大変好評を博しました。このほか、それぞれのパークで季節や特色を活かしたスペシャルイベントやエンターテイメントを展開し、たくさんのゲストをお迎えいたしました。

しかしながら、2つのテーマパーク合計の入園者数は、10月から12月においては前年同期を若干上回ったものの、当中間期の減少分をカバーしきれず前年同期を若干下回りました。一方で、ゲスト一人当たり売上高においては、当中間期から引き続き商品販売や飲食販売が好調だったことなどにより、前年同期を若干上回りました。

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでは、ホテル内レストランにおいて東京ディズニーシーのイベントと連動したスペシャルメニューの提供などを積極的に展開いたしました。

以上の結果、テーマパーク事業の売上高は215,018百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

#### (複合型商業施設事業)

イクスピアリでは、開業5周年を迎え「Find Your Style!」をテーマとしたこだわりのライフスタイルの提案や、「ピアリ・クリスマス」などイクスピアリ独自のイベントを開催いたしました。また、9月より「AMCイクスピアリ16」の営業権を取得し、運営を開始いたしました。

ディズニーアンバサダーホテルでは、開業5周年を祝う盛大なイベント「ディズニーアンバサダーホテル“Gala”5th Anniversary」を開催したほか、各レストランにおいて、パークイベントに連動した特徴的なスペシャルメニューを提供いたしました。

以上の結果、複合型商業施設事業の売上高は17,240百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

#### (リテイル事業)

ディズニーストアでは、4月に「町田109店」、8月に「札幌ピヴォ店」、9月に「天王寺ミオ店」、11月に「川口アリオ店」を新たにオープンしたほか、同商圏内での店舗移動による1店舗の退店を行うなど、戦略的な出退店を行いました。また、ゲストの購買履歴から顧客ニーズをリアルタイムに把握し、マーケティング戦略に活用するメンバーズプログラム「Fantamiliar」を、11月から4店舗にて導入いたしました。

しかしながら、当中間期に引き続き、来店客数が減少したことなどにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、リテイル事業の売上高は16,333百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

#### (その他の事業)

ホテル事業では、昨年2月に開業したパーム&ファウンテンテラスホテルが期間を通じて業績に寄与いたしました。また、モノレール事業では、ディズニーリゾートラインにおいて、東京ディズニーリゾートを訪れた多くのゲストに引き続きご利用いただきました。

以上の結果、その他の事業の売上高は9,257百万円（前年同期比56.0%増）となりました。

#### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	665,548	374,906	56.3	3,941.38
17年3月期第3四半期	650,404	390,068	60.0	3,895.97
(参考) 17年3月期	660,224	389,606	59.0	3,890.51

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

（資産の部）

当第3四半期末の資産の部合計は、665,548百万円（前期末比0.8%増）となりました。

流動資産は、運用資産の増加に伴い有価証券が増加したことなどにより97,888百万円（同9.2%増）となりました。

また、固定資産は、東京ディズニーリゾート各施設の減価償却にて有形固定資産が減少したことなどにより567,655百万円（同0.5%減）となりました。

（負債の部）

当第3四半期末の負債の部合計は、290,533百万円（前期末比7.4%増）となりました。

流動負債は、第5回無担保社債（10,000百万円）を償還した一方、第2回無担保社債（30,000百万円）の固定負債からの振替があったことなどにより、94,824百万円（同25.2%増）となりました。

また、固定負債は、第2回無担保社債の流動負債への振替があった一方、6月に実施した自己株式取得の資金手当てのため長期借入金（31,000百万円）が増加したことなどにより、195,708百万円（同0.5%増）となりました。

（資本の部）

当第3四半期末の資本の部合計は、利益剰余金が増加したものの、自己株式の取得に伴う減少などにより374,906百万円（前期末比3.8%減）となりました。また、株主資本比率は56.3%（対前期末2.7ポイント減）となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	334,700	28,900	25,000	14,400

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 150円49銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期までの利益の通期業績予想に占める割合は、営業利益107.4%、経常利益113.1%、当期純利益114.8%となっております。これは、例年季節要因によって第4四半期のテーマパーク入園者数が他の四半期よりも比較的少なく、一方で営業時間の短いこの時期にアトラクションなどのメンテナンスを集中的に実施するなど、「第4四半期は売上高が低く固定経費が高い」という当社テーマパーク事業の特性に起因するものです。

なお、通期の業績見込につきましては、上記のとおり平成17年11月8日に発表いたしました数値と変更はありません。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成17年12月31日現在)		前 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成16年12月31日現在)		前 年 同 期 比 較 ( △ 印 減 )		前 連 結 会 計 年 度 の 要 約 連 結 貸 借 対 照 表 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減	前 期 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%		%
I. 流 動 資 産								
1. 現 金 及 び 預 金	41,987		45,866		△ 3,879		47,678	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	13,068		12,609		458		11,455	
3. 有 価 証 券	16,798		18,649		△ 1,851		10,048	
4. た な 卸 資 産	9,716		9,796		△ 79		8,099	
5. そ の 他	16,318		9,072		7,245		12,335	
6. 貸 倒 引 当 金	△ 0		△ 0		0		△ 1	
流 動 資 産 合 計	97,888	14.7	95,994	14.8	1,894	2.0	89,616	13.6
II. 固 定 資 産								
(1) 有 形 固 定 資 産								
1. 本 勘 定	501,311		490,935		10,375		508,621	
2. 建 設 仮 勘 定	13,023		12,979		43		12,100	
有 形 固 定 資 産 合 計	514,334	77.3	503,914	77.5	10,419	2.1	520,721	78.9
(2) 無 形 固 定 資 産	12,218	1.8	11,663	1.8	554	4.8	11,615	1.7
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産								
1. そ の 他	41,289		38,912		2,377		38,439	
2. 貸 倒 引 当 金	△ 187		△ 218		31		△ 181	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	41,102	6.2	38,693	5.9	2,408	6.2	38,258	5.8
固 定 資 産 合 計	567,655	85.3	554,272	85.2	13,382	2.4	570,594	86.4
III. 繰 延 資 産	4	0.0	137	0.0	△ 133	△ 96.9	13	0.0
資 産 合 計	665,548	100.0	650,404	100.0	15,143	2.3	660,224	100.0
(負債の部)								
I. 流 動 負 債								
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	14,403		14,973		△ 569		14,585	
2. 一 年 以 内 に 償 還 す る 社 債	30,000		10,000		20,000		10,000	
3. 一 年 以 内 に 返 済 す る 長 期 借 入 金	—		9,700		△ 9,700		5,200	
4. 未 払 法 人 税 等	7,574		7,383		190		7,280	
5. そ の 他	42,846		38,446		4,400		38,666	
流 動 負 債 合 計	94,824	14.3	80,503	12.4	14,321	17.8	75,732	11.5
II. 固 定 負 債								
1. 社 債	120,000		150,000		△ 30,000		150,000	
2. 長 期 借 入 金	50,000		3,000		47,000		19,000	
3. そ の 他	25,708		26,721		△ 1,012		25,778	
固 定 負 債 合 計	195,708	29.4	179,721	27.6	15,987	8.9	194,778	29.5
負 債 合 計	290,533	43.7	260,224	40.0	30,309	11.6	270,510	41.0
(少数株主持分)								
少 数 株 主 持 分	107	0.0	111	0.0	△ 3	△ 3.5	107	0.0
(資本の部)								
I. 資 本 金	63,201	9.5	63,201	9.7	—	—	63,201	9.6
II. 資 本 剰 余 金	111,403	16.7	111,403	17.2	—	—	111,403	16.9
III. 利 益 剰 余 金	223,273	33.5	211,455	32.5	11,817	5.6	210,725	31.9
IV. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	7,292	1.1	4,018	0.6	3,274	81.5	4,288	0.6
V. 自 己 株 式	△ 30,263	△ 4.5	△ 10	△ 0.0	△ 30,252	—	△ 11	△ 0.0
資 本 合 計	374,906	56.3	390,068	60.0	△ 15,161	△ 3.9	389,606	59.0
負債、少数株主持分及び資本合計	665,548	100.0	650,404	100.0	15,143	2.3	660,224	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期連結会計期間 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		前四半期連結会計期間 〔自平成16年4月1日 至平成16年12月31日〕		前年同 期 比 較 ( △ 印 減 )		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増 減	前期比	金 額	百分比
		%		%		%		%
I. 売 上 高	257,850	100.0	256,297	100.0	1,552	0.6	331,094	100.0
II. 売 上 原 価	202,263	78.4	198,321	77.4	3,942	2.0	264,989	80.0
売 上 総 利 益	55,586	21.6	57,976	22.6	△ 2,389	△ 4.1	66,105	20.0
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	24,539	9.6	23,517	9.2	1,021	4.3	31,543	9.6
営 業 利 益	31,047	12.0	34,459	13.4	△ 3,411	△ 9.9	34,561	10.4
IV. 営 業 外 収 益	937	0.4	2,652	1.1	△ 1,715	△ 64.7	3,014	0.9
V. 営 業 外 費 用	3,706	1.4	4,784	1.9	△ 1,077	△ 22.5	6,740	2.0
経 常 利 益	28,277	11.0	32,327	12.6	△ 4,049	△ 12.5	30,836	9.3
VI. 特 別 利 益	—	—	—	—	—	—	578	0.2
VII. 特 別 損 失	153	0.1	645	0.2	△ 491	△ 76.2	966	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	28,124	10.9	31,682	12.4	△ 3,557	△ 11.2	30,447	9.2
法人税、住民税及び事業税	10,837	4.2	12,937	5.1	△ 2,100	△ 16.2	12,909	3.9
法人税等調整額	749	0.3	549	0.2	199	36.3	312	0.1
少数株主利益	0	0.0	5	0.0	△ 4	△ 97.6	1	0.0
四半期(当期)純利益	16,537	6.4	18,189	7.1	△ 1,652	△ 9.1	17,224	5.2